

“自然エネルギーをすすめる我孫子の会”の設立趣意書

我孫子市は、北の利根川と南の手賀沼に挟まれた景勝地に位置し、自然に恵まれた環境にあります。

市の基本構想では“「手賀沼のほとり、心輝くまち」～人・鳥・文化のハーモニー～”を将来都市像にして、市民と市が、手をとりあってまちづくりに取り組むことを基本として行政施策を進めていることはご承知の通りです。

また、地球温暖化という世界的な脅威に対応するため、市では“あびこエコ・プロジェクト”を策定し、二酸化炭素排出量の削減に取り組みながら、目標達成に向けて努力しています。

このような背景の中で、わたくしたち市民は市と一体となって地域固有のエネルギーである自然エネルギーを有効利用し、“自然エネルギーを活用したまちづくり”をスローガンに“自然エネルギーをすすめる我孫子の会”を設立したいと思います。

自然エネルギーは太陽光、太陽熱、地中熱、地熱、水力、風力等で“再生可能エネルギー”とも言われ、いくら消費しても自然が再生してくれます。

“二酸化炭素”は発生しません。

自然エネルギーは、地域の自然環境により様々に分布しています。

地域に合った利用方法をみんなで考え、子どもや孫たちの時代まで活用しながら、地域の振興にも寄与して行きたいと考えています。

市民と市が協働し自然エネルギーの普及を目指す“自然エネルギーをすすめる我孫子の会”は、市民の力を最大限に活用しながら、地元の産・学・官を含め幅広い技術、人材、ノウハウ、資金等を集結し、皆様と一緒に次のようなことをすすめて行きたいと考えています。

1. 自然エネルギーを活用して、二酸化炭素の排出量を抑制し、地球温暖化防止に協力します。
2. 自然エネルギーを広く活用して、子どもたちのために未来環境を保全します。
3. 自然エネルギーを、みんなで安全に、安心して活用します。
4. 自然エネルギーを活用して、いっしょにエネルギーの地産地消を推進します。
5. 自然エネルギーを活用して、子ども達の将来の経済的負担を少しでも軽減します。
6. 自然エネルギーを活用する新しい文化を推進します。

このような趣旨にご賛同いただき、多くの皆様が本会に参加され、我孫子市における自然エネルギーの普及促進に向けて、御協力いただきたくお願い申し上げます。

平成27年11月29日

自然エネルギーをすすめる我孫子の会設立準備会

世話人 青木 弘 (地産・地消の太陽光発電を考える学習会)
海老原 美宣 (我孫子市環境経済部長)
大島 和夫 (我孫子市で自然エネルギーの利用をすすめる会)
谷 辰夫 (我孫子市で自然エネルギーの利用をすすめる会)
中川 恵一 (地産・地消の太陽光発電を考える学習会)
本島 勲 (我孫子市で自然エネルギーの利用をすすめる会)

(五十音順)